

野菜

1 アスパラガス

(1) 地上部の刈り取り、翌年の栽培準備（病害虫対策）

茎葉が完全に黄化（早くとも8割以上黄化）したら、できるだけ地際から刈り取ります。茎枯病や斑点病に罹病した茎葉は翌年の伝染源となるため、畑内に残らないように畑の外への持ち出します。また、地上部刈り取り除去後、株元を中心に畝表面全体をバーナーで焼却すると、茎枯病等の病原菌や害虫の越冬量を低下させる効果があります。この際、残渣や地表面が炭化するまでしっかり焼却しましょう。



写真1、2 バーナーによる地表面や残茎の株元焼却（JANAがのバーナー現地実演会より）

(2) 野そ（野ねずみ）対策

冬から春にかけて野その被害が多い場合、株の衰弱や欠株の原因となります。畑やその周囲部に雑草が繁茂していると、生息密度が高まる場合があります。残渣や不要物の片付けや除草により、侵入しにくい環境づくりに努めましょう。

<野そ（野ねずみ）対策のポイント>

- 春と秋の年2回、重点駆除の実施が効果的
- 近隣ほ場との共同駆除など、広範囲、定期的な駆除で周辺地域の野その低位に生息密度を保つ
- 時期により、殺そ剤、ワナなど複数の方法を組み合わせる

<対策>

- 未熟な有機物は利用せず、発生が目立つ畑では、晩秋時の施用を避け、翌春の立茎時に完熟堆肥を施用します。
- 茎葉刈り取り後の残渣を片付けます。残渣を畑にすき込む場合は、石灰窒素などを散布、培土を戻して腐熟を促進させます。
- 野その活動穴がある場合は、穴を踏みつけてふさぎ、翌日に穴が再び開いているかを確認しましょう。活動穴がある場合は、積雪前に殺そ剤や忌避剤などによる防除を行います。
- 畑周辺に休耕地がある場合や野その生息数が多い場合は、積雪前に畑周囲にミニバックホーやネギ用の溝掘機などで溝を掘り、地下部25cm、地上部15cm位が出るように遮蔽板などを埋め込み、物理的に外からの畑の中への侵入を防止すると効果的です。



写真3 アスパラガス畑のネズミ穴

2 寒締めハウレンソウ

冬の始めまでに、ハウス内で出荷サイズまでの大きさに生長させ、外気温が5℃以下になったら、ハウスの側窓等の開口部を開けて、低温（冷氣）に遭わせる栽培方法です。

低温に遭わせる（ハウスの開放）時間は、低温による葉のしおれ・枯れを防ぐため、日中から始め、低温に慣れるまでは、夜にはハウスを閉めましょう。また、日中でも風が強い時や、最低気温が-5℃以下などの天気の良い場合は、ハウスを閉め、天気が良くなったら必ず開けましょう。この時期でもハウスを閉めきった状態で日射がある場合は、高温となることから留意してください。なお、ハウス内で被覆資材を使用している場合は、ハウスを開放予定の4～3日前から資材の除去、または、被覆した状態でハウスの開口部を開放し、3～4日後に被覆資材を外します。

ハウスの開放後1週間程度経過すると低温に慣れてきますので、夜間もハウスは開放します。2週間程度経過すると、寒さに当てると品質（糖度等）が向上します。茎をかじってみて甘さを感じるようになったら収穫を始めます。

一般的には気温が低いこの時期の害虫の発生は少ないですが、暖かい日が続くとアブラムシ等がハウス周辺部から侵入、発生が増加することもあるので、ハウスを管理する際に注意して観察し、発生した場合には、適用作物、病害虫等農薬の登録内容を遵守して防除します。

3 農業機械の整備

こまめな点検整備は、農作業安全につながり、燃料代などのランニングコストや修理費の低減、農繁期の機械故障による作業中断の時間的ロスの低減につながります。この時期に点検整備を行い、破損や不具合な部分は忘れずに修理・交換するようにしましょう。

特に、クラッチやアクセルのワイヤーが緩んでいないか等も確認し、必要に応じて調整や交換しておきましょう。

○ 管理機

ロータリー部分に巻き付いたごみを取り除き、泥や土はていねいに洗い落とし、ホコリや砂はブロワー等で吹き飛ばしておきます。また、洗浄時に故障や異常箇所を確認するとともに、洗浄後は、錆(さび)が生じやすいところに薄く油を塗り、必要なところはグリスアップを行います。

○ 草刈り機

回転部分などの高温になる箇所のグリスアップは専用品を用いて行いましょう。

○ トラクター

ユニバーサルジョイントを中心にグリスポイント全て部分に注油しましょう。エアクリーナーに付着した土ほこりも清掃しておきましょう（燃費の向上や出力低下を予防のため）。

燃料タンク内の燃料は、満タンにするか完全に抜き取ることで、燃料への水の混入が防げます。

バッテリーも長期間使わない場合は取り外しておきましょう。

○ ブームスプレーヤ・動噴

タンク内部、ホース、噴口等を洗浄した後に、水抜きしておきます（凍結による破損防止）。